

福祉のまちづくり懇談会(H27.7.24 中清戸・下清戸)ニュース

◆当日の振り返り

懇談会には21名が参加していただき「中清戸・下清戸の困りごと、気になること」をグループごとに話し合いました。地域住民の方、福祉関係者の方など、様々な視点から意見の交換・発表ができたのではないのでしょうか。

◆地域の困りごと・気になること

各グループからより多くでた意見です。

- ・【**人とのかかわり**】…「子どもが独立し、定年をむかえた年代で、人とのかかわり方を求めている人がいる」、「話し相手がいない」、特に近隣住民との付き合いが少なさに不安という意見があがりました。
- ・【**ボランティア**】…「ボランティアの案内や説明がほしい」、「ボランティアの活用が上手く行ってない」、「手助けを気軽に頼めない」と支援の需要と供給が結びついていない様子です。
- ・【**買い物のサポート**】…「この地区は買い物をする所が少ない」、「スーパーに行くにもバスが少ない」と不便を感じている方が多く、引きこもりがちな男性独居高齢者の食事を気にする意見もでました。



◆地域にほしい取り組み

これらの問題を踏まえて、あったらいいと思う取り組みを話し合い、「一人でもできそうなこと」、「何人かいればできそうなこと」、「地域全体で頑張ればできそうなこと」の3つに分類しました。

- ・【**人とのかかわり**】→「認知症カフェやイベント等人が集まる拠点づくり」、「情報交流の場に自治会が欲しい、もっと力をいれたい」
- ・【**ボランティア**】→「市報などに助けを必要とする側と支援できる人の情報を載せる」、「交流のきっかけにもなるため元気な高齢者にも呼びかけ参加を促す」
- ・【**買い物のサポート**】→「移動販売車があるとよい」、「買い物に行けない高齢者へ食事提供事業化を自治体中心におこなう」

◆次回の懇談会にむけて

その他に自転車の乗り方やゴミの投げ捨てなどマナー違反の問題も目立っているように、地域の問題解決には住民ひとりひとりの意識の改善も大切であると考えられます。今後もより多くの方に参加をしていただき、地域の方とともに住みやすい福祉のまちづくりを目指していきたいと思っております。